

プレミアム
PREMIUM

おすすめ度 No.1 土がよくなると肥料の力は生かせない

土の素とその使い方

赤玉土の改良

培養土の改善強化

古土の再生

- ・ 有益微生物の働きと有機リン酸の相乗効果で極上の土づくりができる。
- ・ 健全生育には欠かせないリン酸・鉄・マグネシウム・ミネラル分等を配合し力強い生育を促します。



6.5kg入

特徴

- 赤玉土を肥沃化しリン酸の効く土に改善し根張りをよくする。
- 培養土中の有益微生物を増殖し、生きた土に改善し、根の活力向上と根張りをよくし、健全生育を促す。
- 有益微生物の働きと有機リン酸等の相乗効果で古土を効果的に再生します。

生育に現れる効果

- リン酸の効きめを高め「葉が巻き込む」「葉が黒くなる」などチッ素過剰になりやすく、「鮮やかな緑の大葉」「太い幹」となり、健全で力強い生育をする土づくりができます。
- 根先、芽先、花芽など生長点の細胞を活性化し、根の伸長が良く、生育が早まります。
- 徒長しない、体質が強化され、生長力が高まり、充実した木づくりとなる。
- 病原菌に対する抵抗性が増し被害が軽減する。

おすすめ!

透水源

水のしみ込みが良くなり
作業が楽になる!!

残った分は
3000~5000倍に
水にうすめ水掛けに
お使い下さい。



カタログ14頁も
ご参照ください。

450g入

こんな時にこんな使い方

赤玉土の改良 …… 1袋で9号鉢25~30鉢分

赤玉土は有機物を含まないヤセた酸性土 リン酸吸収率が高くリン酸が効かない為、植物の栽培には適さない土です。

この欠陥を改善し「根張りが悪い」「葉が巻く」「葉色が黒くなる」「葉肉がつかない」「花が乱れる」などリン酸不足の根本的な原因を取り除くことができます。

培養土の改善強化

自家製培養土のパワーアップに使用します。

有益微生物、有機リン酸、その他有効な栄養分を効果的に補給し生きた培養土に改善します。

「根張りの向上」「リン酸の補給によるチッ素過剰症」を未然に防ぎ健全生育を促します。

古土の再生 …… 古土約100リットルに使えます。

菊は連作障害の起きると生育がいちじるしく悪くなります。培養土を繰り返し使うことはできません。

プレミアム土の素は連作障害を改善し土をよみがえらせ、再使用を可能にします。

なぜ必要赤玉土の改良

赤玉土は赤土が団粒化したもので火山灰土です。

その性格は「有機物を含まないヤセた土」「林産の吸着固定が激しく、リン酸が効かない」リン酸不足が起きやすく、「葉がタレ下がる」「葉が黒くなる」などチッ素過剰症が起きやすく「花ぐされが出やすい」など菊づくり（植物の栽培）には適した土とは言えません。

そこで、この欠陥を改善することで健全かつ力強い生育をする培養土づくりをめざすことが赤玉土改良の目的です。

リン酸が効けばこんなにちがう



土がよくなると肥料の力は生かせない

プレミアム 土の素 を使った赤玉土の改良法 ……有機リン酸の効果と微生物の力で健全かつ力強い生育をする土づくりができる

赤玉土のココを改良

赤玉土は「有機物を含まないヤセた土」「リン酸の吸着固定が激しくリン酸の効かない土」「酸性土」です。
リン酸不足が起きやすく「葉が巻く」「葉がタレ下がる」「葉が黒くなる」「幹が太らない」「花くされが出やすい」などをまるごと改良する。



材料及び配合割合



3月2日

赤玉土75～80リットルに対する使用量

- ①プレミアム土の素 6.5kg 1袋
- ②米ヌカ 7～8リットル
- ③モミガラくん炭 5～7リットル



積み込み後5日後

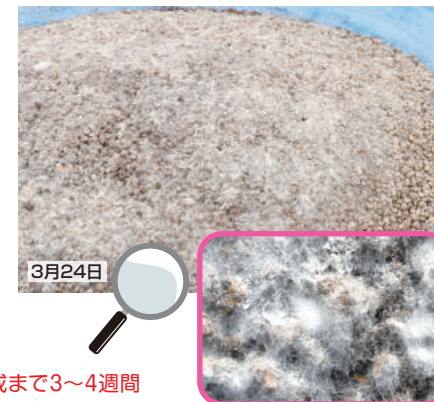
気温が低い地方では微生物の栄養源として働き増殖を促すために
糖蜜 400～500倍
砂糖 10リットルの水に30～50グラムを使用するとよい。



3月7日



改良完成



3月24日

(注) 完成まで3～4週間
必要です。
ミジンは抜かないで
培養土に配合します。

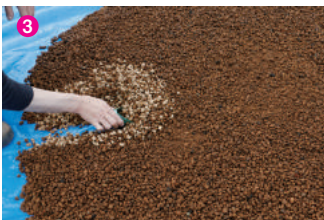
菌が十分に増殖し赤玉土に有機物を取り込み肥沃化している。



厚さを均一にならすことで水のしみ込みを平均にする。



掛け過ぎに注意しながら水を均一にしみ込ませる。「透水源」2000～3000倍の使用がおすすめ。



水が下までしみ込んでいるか確認する。たまるほどかけると赤玉がくずれやすくなる。



各種材料を全体に広げてのせる。



シートの角を持って引き寄せる。④の材料が転がりながら手前にくる。次に反対側の角を持って反対側に引き寄せ、④の材料を4すみを持ち引き寄せ転がすことで楽に均一に混ぜられる。



④の材料を均一に混ぜ合わせたら終了です。
中心部分が混ぜ残しが出る場合があります。スコップ等で混ぜ⑤⑥をくり返します。



場所があればシートにくるみ放置でもよい。菌の増殖が進み改良が始まります。
(注) 空気の流通が必要です。
密閉した容器類は不可です。



ドノウ袋に入れ放置でもよい。冬期は保温の為にシートなどを掛けておきます。雨除けは必要です。

強化型 プレミアム土の素と旧土の素との違い

旧土の素は1袋で赤玉土75～80リットルを改良する為に見合ったリン酸及び菌体栄養分等が配合されていました。“プレミアム土の素”は培養土約250リットルに見合うリン酸、その他栄養分を配合してあります。旧土の素と比べると各種の栄養分は2～2.5倍の配合量となっております。さらに最上級の“天然マグネシウム”を配合し光合成を高めることで生育促進の効果を図っています。特に赤玉土の改良効果を高める為の泥炭は高級化を図り、赤玉土の肥沃化や根張りや生長力の向上など全体的に性能を高めています。さらに病害虫の被害を軽減する効果も高めています。



改良済赤玉土

この改良法により完成した改良赤玉土です。栽培の鉢数が少ない場合におすすめです。



15リットル入り

お申込み・お問い合わせは

ウチダケミカルコーポレーション

Tel.029-869-1777 Fax.029-869-1666
〒300-4204 茨城県つくば市作谷1711-12